

6番 朝倉秀康 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 中九州横断道路をいかした各種展開について</p>	<p>間近に迫った中九州横断道路は、朝地インター、さらには竹田インターへと開通します。これに伴い、本市の対応策について伺います。</p> <p>① 昨年第3回市議会定例会で答弁をいただきました市内各インターチェンジへの誘客対策の進捗状況と今後の展開について伺います。</p> <p>② 市内各インターチェンジから大分市は1時間以内で通勤圏内となるが、流出する若者の定住対策を検討されているのか伺います。</p> <p>③ 道の駅朝地の駐車スペースが狭いが拡張計画はあるのか、あればその進捗状況を伺います。</p> <p>④ 朝地インターチェンジ開通に伴い、県道、緒方朝地間の整備が急がれるが、その進捗状況を伺います。</p>	<p>市長</p>	<p>市長</p>
<p>2 2月中旬の大雪災害について</p>	<p>2月13日から降り始めた雪は、一夜明けた14日の朝、市内で20cmから100cmの積雪があったようであり、朝の通勤、通学の騒動は、大変だったと察します。</p> <p>さて、こんな中、停電している地域もあり、市内放送も、税の申告、ごみ収集取りやめの放送だけで、外部の情報が分からず不安だったと思うが。</p> <p>① 2月14日の午前9時50分頃まで、市内各地の情報を市内放送でなぜ流さなかったのか伺います。</p> <p>② この大雪で農業施設の被害は甚大で風評被害に追い打ちをかけられた感じがします。作物も生き物です。迅速な救援策について伺います。</p>	<p>市長</p>	<p>① 総務課長</p> <p>② 農業振興課長</p>
<p>3 ふるさとおおのの活用について</p>	<p>この歌については、先の臨時議会終了後、市のイメージソングとして紹介されましたが、その後の経過を伺います。</p>	<p>市長</p>	<p>まちづくり推進課長</p>

15番 宮成寿男 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 県道三重新殿線バイパスの早期完成について	<p>施政方針に「中九横断道路と市の中心部・国道 326 号とを結ぶ三重新殿バイパスの整備については、県が平成 12 年から進めており、大野川の両岸の牟礼前田工区について凍結となっていました。本年度から着手の運びとなった」とあるが、その経過と、一部当初計画から変更したと聞くがその内容について伺う。</p>	市長	市長
2 中九州横断道路犬飼インター4車線化への国への陳情について	<p>大分と熊本を結ぶ中九州横断道路は、国の直轄事業として整備されています。豊後大野市に関する区間も着々と工事が進んでいます。</p> <p>ただ、犬飼インターにおいては、国道 57 号、国道 326 号から、本線に入る側道の距離が短く、その上カーブの位置にあり、非常に危険な状態です。</p> <p>大惨事が起きる前に、側道を延長するなどの改善を、地元のものとして、大分県、国、国土交通省へ要求、あるいは陳情するべきだと思いが、いかがか。</p>	市長	建設課長
3 消防設備機器の整備について	<p>豊後大野市火災概要を見ますと、平成 24 年度の火災は平成 23 年度より 9 件減少しています。しかし、まだまだ多い状況であろうと思います。</p> <p>そこで、消火栓等の消防設備の整備されている地区に対して、それを使うホース等、消防器具について、豊後大野市から支給するなど、補助してはどうか。</p>	市長	総務課長

7番 神志那文寛 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 旧中央公民館の体育室、補助的利用の約束は。</p>	<p>2010年度末ごろ、旧中央公民館については補助施設等として利用するとの方針が出されましたが、いまだ実現していません。</p> <p>一方で、現在庁舎周辺整備の検討の中で、旧庁舎跡地の介護予防拠点施設ひなたぼっこの付近に多目的ホールの建設が検討されています。これは「子どもと高齢者の交流施設として利用できるもの」との考え方に加えて、「生涯学習の場として利用できる施設」としており、旧中央公民館の体育室の代替としても検討されているようであります。</p> <p>① 2010年度末ごろに、旧中央公民館は補助施設等として利用するとの方針を出したにもかかわらず実現できていないのはなぜでしょうか。その経過を伺う。</p> <p>② 現在検討されている多目的ホールは、旧中央公民館の体育室に比べればかなり狭くなることが予想されます。生涯学習、つまり各種公民館クラブの皆さんにとっては、狭くて使いづらいものになるのではないのでしょうか。ホールはできるだけ広くすべきと考えますが、いかがでしょうか。</p>	<p>市長</p>	<p>市長</p>
<p>2 ジオプロジェクト事業の費用対効果は。</p>	<p>ジオパークの認定を受けるために、2012年度にジオプロジェクト推進事業として1,825万円が支出され、2013年度は約972万円の予算でありました。</p> <p>① この約2年間、ジオプロジェクト事業推進の中で市民に生まれた効果は、どのようなことが、どれくらいありましたか。</p> <p>② 特に、ジオパーク認定を受けるための取組の中で、既に市外から多くの方が訪れていると思いますが、研究者や行政関係者などによる調査、一般の方による観光など、どのような目的で、どれくらいの方が豊後大野市に訪れているのでしょうか。</p>	<p>市長</p>	<p>商工観光課長</p>

20番 渡辺一文 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 農業振興について	<p>① 中山間地域等直接支払制度は、平成 22 年度を始期とする第 3 期対策が現在実施されているが、平成 26 年度が最終年度となる。</p> <p>中山間地域を抱え、農業者の高齢化が進み、担い手が不足する本市としては、非常に有効な制度と考える。平成 27 年度以降の事業の存続は、本市にとって非常に望まれる。</p> <p>そこで、今後の中山間地域等直接支払制度の存続の見込みについて伺う。</p> <p>② 本市の基幹産業は農業であると言われて久しいが、その割には、農産物、加工品について、質、量ともに日本一と誇れる農産物や加工品が多いとは言い難いように感じられる。</p> <p>本市には県の研究指導機関等が立地しており、その利点をいかし、更なる連携強化を図ることで、農産物や加工品の高品質化に結びつけることはできないか。</p>	市長	市長
2 市内労働者の雇用条件の向上対策について	<p>市内で働く方々から、近頃賃金の格差が大きいとよく耳にする。市長は、「1メートルからの民主主義」とよく口にするが、現在市内で働く労働者の賃金を始めとする雇用条件の現状について、詳細に把握されているのか。また、具体的にどのように分析されており、その雇用条件の向上対策を進めているのか伺う。</p>	市長	商工観光課長

13番 佐藤徳宣 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 老朽危険建築物について	① 市内の老朽危険建築物等（公共建物、空き家、住家）の実態把握はできているか伺う。 ② 県と県内市町村が空き家対策検討会議を設置していると思うが、これまでの協議について伺う。 ③ 危険度の判定基準や老朽家屋台帳の整備等、危険建築物に対する執行部の考えを伺う。	市長	市長
2 市有地や市道等の登記について	① 旧町村から引き継いだ公有財産の登記の状況について、実態と問題点を伺う。 ② 国土調査の進捗状況が旧町村ごとに大きな差があるが、国土調査の旧町村地域の実態と問題点を伺う。 ③ 登記が出来ていないために、市民や土地所有者にどういった問題が生じるのか。	市長	財政課長
3 市発注工事等の「標準工期」について	① 「標準工期」の計算方法について伺う。 ② 「標準工期」が設定できないのは発注側に問題があると考えるが執行部の考えを伺う。 ③ 工事等発注について「標準工期」がとれない場合の発注側と請負側が被る損失と問題点について伺う。 ④ 「標準工期」を設定できなかった工事について、工期を守れなかった請負業者に対する罰則規定や行政指導について伺う。	市長	建設課長

3月6日（木）

4番 小野勇治 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 市民生活に深く関わる道路整備の取組について	<p>市民生活に直結する道路インフラ整備は景気及び災害対策としても豊後大野市の重要課題と考える。また、長寿命対策として道路、トンネル、橋梁の整備をどう進める。</p> <p>近年の公共工事発注の減少から地元企業は弱体化している。その対策は。</p> <p>① 景気対策として、道路整備の方向性を伺う。                  ② 長寿命化のため道路整備をどう進める。                  ③ 地元建設企業のための方策は。</p>	市長	市長
2 林業振興に欠かせない林道及び作業道の整備計画を伺う	<p>木質バイオマス発電に係る観点から様々な林業の振興について伺う。</p> <p>① 林業振興に欠かせない林道及び作業道（路）の現況及び計画を伺う。                  ② 木質バイオマス発電に伴う木材の供給体制をどう推進する。                  ③ 将来の林業担い手育成は。                  現場の育成とともに、市役所内部の課題は。</p>	市長	農林整備課長

3番 赤峰映洋 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 豊後大野市民病院は今後どのような方向性で存続させるのか	<p>① 市民に頼れる病院として、具体的にどのような取組を行っているのか。                  ② 安定的な病院経営の取組は。</p>	病院事業管理者	病院事業管理者
2 豊後大野市に多く存続する石橋の保存の状況について	<p>① 文化財として指定している石橋と指定されていない石橋の違いは。                  ② 将来、自然崩壊の可能性のある石橋の調査、保存対策はどうなっているのか。</p>	教育委員長	教育長

16番 衛藤正宏 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 豊後大野市の今後の施策について	① 子供から高齢者まで、いきいきと暮らせる安心、安全コミュニティの形成について ② 豊後大野ブランドの確立について（生産、流通、販売、消費） ③ 地域の特性をいかしたジオパーク等の推進による観光振興と地域振興について	市長	市長
2 豊後大野市の教育振興について	① 特色ある学校づくりについて ② 学校、地域、保護者の連携による教育振興について	教育委員長	教育長

5番 内田俊和 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 食育推進について	① 食のモデル地域育成事業との関連について伺う。 ② 食育推進について、どのような計画の見直しを行うのか。	市長	市長
2 予算の組立てについて	中堅職員研修について伺う。	市長	総務課長

18番 宮成昭義 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 新市におけるまちづくり計画の事業推進状況について	合併10年目に当たり、5町2村の合併時における新市まちづくり計画の事業進捗状況を問う。 ① ゾーニング手法による機能分担における土地利用、空間構想でのバランスは築かれたのか。 ② 人口動態からしての若者定住対策は、どのように進めてきたのか。 ③ 財源の効率的配分と自主財源の確保の施策展開はどうであったのか。	市長	市長
2 新たな子ども・子育て支援制度の取組について	① 実態調査での集計分析及び支援会議の議論状況は。 ② 新制度移行に伴う教育委員会の考え、対応策は。	市長 教育委員長	① 社会福祉課長 ② 教育長



11番 恵藤千代子 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 県の遊休資産の利活用について	<p>① 平成24年3月定例会において、私の一般質問の答弁は、庁内に検討委員会を立ち上げ、県と協議しながら、最善策を探ってまいりたいとのことであった。その後の検討状況を伺う。</p> <p>② 大分県は、遊休資産の売却や転用を進める県有財産利活用推進計画の期間を平成27年度までとし、学校跡の活用や旧三重病院などの大型物件についても重点的な取組を進めるとしている。</p> <p>基本的には、公用公共用を優先しようと市町村に購入などを働きかける方針を示している。</p> <p>この広大な土地や建物が本市の活性化へつながるような利活用ができればと期待している。市は、今後、県の働きかけに、どのような方向付けをもって対応していくのか伺う。</p>	市長	市長
2 少子化対策について	<p>① 妊娠しても流産や死産を繰り返してしまうなど、不育症で悩んでいる方々のために。</p> <p>不育症の原因は、人それぞれだが、検査と治療によって85%もの不育症患者が出産にたどりつくことが分かっている。</p> <p>国内では、不育症に悩んでいる方々を経済的、精神的の両面から支援する自治体が増えている。県内では、竹田市、由布市、豊後高田市が不育症治療助成事業を実施しています。</p> <p>本市でも、治療費助成に取り組めないか市の見解を伺う。</p> <p>② 平成になって、男性、女性とも、晩婚化が進行している状況から、大分県は若い世代の方々への未来のお役に立てればと、「今伝えたい！いつかは子どもを・・・と考えているあなたたちへ～知っておきたいからだのこと～」というパンフレットを作成し啓発を行っている。また、出前講座も実施している。</p> <p>本市での活用状況と今後の活用について伺う。</p>	市長	市民生活課長

## 1番 工藤友生 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 農業振興について	① 農業に係る補助金の活用状況を伺う。 ② 補助金の活用を促進する広報活動は、どのようにされているのか。	市長	市長
2 商業振興について	① 中九州横断道路の竹田ICまでの開通を見据えた国道57号沿線の活性化について。 ② 商工観光課の人員、一般会計における商工費については、十分か。	市長	商工観光課長
3 観光振興について	① ジオパーク認定を受け、経済活動につなげるために、市は行政の役割、市民の役割をどう考えているのか。 ② 景観問題への対策は大丈夫か。 ③ スポーツツーリズムに対する市の考えについて。	市長	商工観光課長

## 2番 川野優治 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 木質バイオマス発電事業について	① 市はどのような支援策を計画しているのか。 ② 事業所入口付近の道路整備について伺う。 ③ 従業員採用において、地元優先枠を確保してもらえるのか。 ④ 近隣住民の中には、騒音で夜眠れなくなるのではないか等の不安を訴える人もあるが、地元住民には十分納得してもらっているのか。	市長	市長
2 かんがい事業及び畑総事業を行った畑地のかんがい用水使用料金について	① 当該料金は、高齢等の理由で耕作ができなくなった荒れた畑についても賦課されているが、この状態をいつまでも放置していいのか。市の見解を伺う。 ② そのような畑の所有者が、農地法第4条及び農地法施行令第7条に基づいて、転用許可申請書を農業委員会経由で県知事に提出しようとする場合、農業委員会はどのように対応するのか。	市長 農業委員会 会長	① 農林整備課長 ② 農業委員会事務局 長